



学校だより

令和5年 9月 28日
No.5 10月号
横浜市立瀬谷第二小学校
校長 山崎 由美

学校教育目標

友情わく かわく 希望わく 毎日わくわくする学校

人と人の中にあるもの

校長 山崎 由美

先日、子どもたちの登下校を見守っていただいているパトロール隊の方と話をすることがありました。本校のパトロール隊には、何十年と続けてくださっている方がたくさんいます。どんな天候の時にも毎日見守りをしていただいていることに感謝を伝えると、「こうやっていろいろな人に会うことで自分も元気をもらっているんだよ。」とおっしゃり、こんなお話をしてくださいました。

もう 10 年以上前のことになるけれど、いつものように挨拶をしながら子どもの登校を見守っていた。するといつもは見かけない高校生くらいの子が通った。その日から毎朝見かけるようになった。いつも通りその子にも毎朝声をかけると、うつむき加減だったその子からも挨拶が返ってくるようになった。次第に笑顔も見られるようになり、お互いに声をかけあうようになった。その年の 3 月、その子から、「実は」と言って差し出されたのが新聞記事だった。その子が高校の授業で書いたものを学校で投稿したら掲載されたということだった。内容は“外国からこの地に越してきて、知り合いもいない中、毎日不安と寂しさに押しつぶされそうだった。でも毎朝元気に声をかけてくれるおじさんがいた。次第に言葉を交わすようになり、自分を知ってくれている人がいると思うと気持ちが救われ、笑顔で過ごせるようになった”というようなことだった。「『とてもうれしかったので、おじさんに』』とってその新聞記事を渡してくれた。

というような内容でした。（記憶をたよりにしているので、多少違う部分があるかもしれませんが、ご了承ください）そのお話をしてくださる表情には笑顔があふれていました。

人と人がつながり、かかわりをもつ大切さ。そこから生まれる優しさで人は育てられているのだと改めて感じました。「人間」という字は人の間と書きます。人と人の間に何を生み出せるか。憎しみや怒りではなく優しさや温かさでありたいです。

本校を取り巻く地域は人とのつながり、子どもを大切に思ってくくださっている方々がたくさんいます。学援隊の方々だけでなく、学校にお手伝いに来てくださっている方などたくさんの方の温かいまなざしに見守られて子どもたちは育っています。この地域で育っている子どもたちの間には優しさが生み出されています。この優しさをさらに大きく、強いものにしていくために、みんなで声をかけあい、人と人の間に優しさや温かさをたくさん通わせていきましょう。

☆瀬谷第二小学校ホームページに、日々の学校の様子を、「わくわくレポート」として不定期でアップしています。合わせてご覧ください。

